

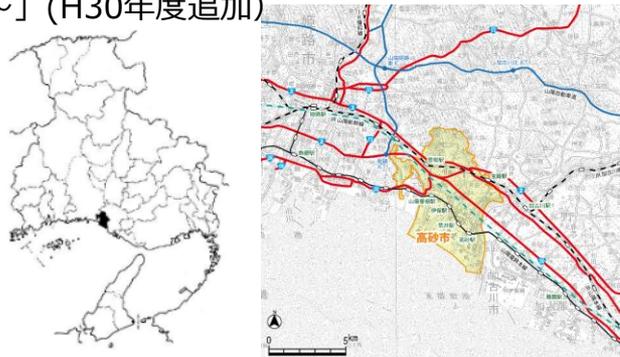
19 高砂市文化財保存活用地域計画【兵庫県】

【計画期間】 令和7～12年度（6年間）

【面積】 34.40km²

【人口】 約8.7万人

【関連制度】 日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」(H30年度追加)



歴史文化の特徴

テーマ1 1700年続く 竜山石の文化～自然や地勢を活かす知恵～

竜山から産出される竜山石は、硬く粘りがあり加工に適しており、1,700年以上にわたって広く流通し活用されてきた。中世から現代にいたるまで、建築用材や仏像、墓石、灯籠、道標等の広い用途を持った。竜山石の文化は、自然や地勢を活かす知恵を象徴し、まちや生活の中に溶け込んでいる。



石の宝殿及び竜山石採石遺跡

テーマ2 山と海と平地で営まれた人々の暮らしと生業

～風土に培われた技術と生活～

先史・古代の遺跡、中世の荘園、近世・近代の集落等、土地に刻まれた記憶や記録からは、各時代の人々の息づかいが今に伝わる。中世・近世には塩田や田畑、用水路等の土地利用が展開し、製綿、漁業、農業等の生業が行われてきた。社寺の信仰や祭り、年中行事等も、人々が積み上げ受け継いできた暮らしを現在に伝えている。



かつての塩田（曾根）

テーマ3 海と川をつなぐみなとのまち高砂

～地勢を活かした交流～

沿岸のみなとのまちは、主に近世から近代にかけて水運が発達し、内陸部から海に注ぐ川の舟運と瀬戸内海運をつなぎ、交易で栄えた流通の拠点となった。人との行き交い、経済のみならず文化を支え続けてきた。歴史的な町並みや船渡御等、地勢を活かした交流が生んだ地域の特性とにぎわいは、まちの中に息づいている。



堀川と高砂みなとまち

テーマ4. 物語をつむぐ白砂青松～失われた風景を愛でる心～

風光明媚な白砂青松の風景は失われたが、人々の記憶や記録の中にある。高砂は古くから和歌や謡曲等につたわれ、美しい景観と慶賀のイメージを人々に印象づけてきた。沿岸の松並木や神社の霊松は名所として親しまれ、多くの旅人が高砂に立ち寄った。高砂の美しい風景を背景として豊かな物語が生まれ、文人たちが交流した。



五代目相生の松

テーマ5. 近代化とあゆんだまちづくり

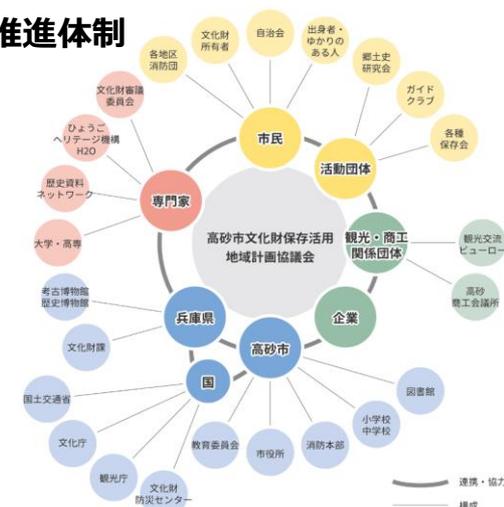
～培われた基盤の継承と発展～

現代の高砂市は、近世以前に発展した歴史文化を基盤として、近代以降、飛躍的に発展を遂げた姿といえる。海岸の埋め立てや工場の進出、鉄道敷設等の近代化を経て、工業都市としての現代がある。住環境を充実させ、インフラ・交通等の都市基盤を整備し、地域に根差した教育を展開するとともに行政組織を確立して、まちづくりを進めてきた。近代化の過程で、入浜権運動等で提起された課題を、ひとつずつ乗り越えながらあゆみ続けている。



旧朝日町浄水場配水塔

推進体制



指定等文化財件数一覧

区分	国 指定・ 選定	県		市		合計		
		登録	指定	登録	指定			
有形文化財	建造物	0	8	4	0	15	27	
	美術工芸品	絵画	1	0	4		12	17
		彫刻	0	0	1		1	2
		工芸品	0	0	0		2	2
		書跡・典籍	0	0	0		4	4
		古文書	0	0	0		0	0
		考古資料	0	0	1		3	4
		歴史資料	0	0	0		2	2
無形文化財	0	0	0		0	0		
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	0		0	0	
	無形の民俗文化財	0	0	1	0	2	3	
記念物	遺跡	1	0	1		1	3	
	名勝地	0	0	0		0	0	
	動物・植物・地質鉱物	0	0	0		0	0	
文化的景観	0					0		
伝統的建造物群	0					0		
合計	2	8	12	0	42	64		

指定等文化財は64件
未指定文化財は3,545件把握

方向性

方向性1
歴史文化を
知る・知らせる
《調査・普及》

- 課題
- 未調査の文化財類型の存在と、すでに把握した文化財の定期的な現況確認が未了
 - 調査成果の市民等への発信が不十分
 - 高砂市を特徴づける文化財の詳細調査等が不十分 等

- 方針
- 1-1.未調査分野の把握調査と定期的な現況確認の実施
 - 1-2.竜山石に関する調査・研究の推進
 - 1-3.埋蔵文化財発掘調査等の継続
 - 1-4.古文書調査の継続
 - 1-6.地域や大学等と協働した文化財調査の推進 等

主な重点措置

3 土木遺産・近代建築・産業遺産等把握調査等

関連団体・企業に協力を求め、連携して産業遺産等の把握調査を行い、結果を公表し、特に重要なものは保護を図る。

- R7～9
- 市・市民・団体・専門家



産業遺産の一例

方向性2
確実に守る
《保存・管理・整備》

- 文化財の指定・登録とふるさと文化財制度の運用が不十分
- 指定等文化財の計画的な整備が必要
- 文化財の修理・修繕の停滞
- 文化財の収蔵・保管・情報管理が不十分 等

- 2-1.文化財の指定・登録の推進
- 2-2.ふるさと文化財制度の活用
- 2-4.保存活用計画に基づく計画的な整備の推進
- 2-5.所有者等への支援を含む文化財の適切な維持管理等の推進
- 2-6.文化財の収蔵機能の検討 等

15 旧入江家住宅の整備

保存活用計画に基づき旧入江家住宅の整備を推進する。

- R7～12
- 市・市民・団体・専門家



方向性3
社会に活かす
《活用》

- 文化財建造物の公開と多様な分野と連携した活用が不十分
- 文化財を活かしたまちづくりの展開や地域の新たな魅力づくりが不十分
- 歴史文化を伝える風景の保全・再生が必要
- 多様性のある利用者に対応した文化財へのアクセスが整っていない
- 他地域と連携した活用ができていない

- 3-1.多様な分野と連携した文化財建造物の公開・活用
- 3-2.歴史文化を活かした観光やまちづくりの推進
- 3-3.歴史文化を活かした産業の振興
- 3-4.高砂らしい風景の再生
- 3-5.誰もが安心して文化財にふれあう機会の創出
- 3-6.多様な移動手法による文化財周遊環境の向上
- 3-7.広範な地域と連携した事業の推進

38 高砂の特色を活かしたふるさと教育等の推進

「ふるさと高砂学」、トライやるウィークでの職業体験等を通じて、ふるさと教育を推進する。

- R7～12
- 市・市民・団体・専門家



謡曲高砂の発表

方向性4
地域全体で
創る・支える
《担い手育成・体制づくり》

- ふるさと教育のさらなる展開が必要
- 市民への普及・啓発・情報発信の充実が必要
- 資料館等の展示機能・運営体制の充実が必要
- 地域活動・市民活動への支援が不十分
- 企業・専門家等との連携が必要
- 文化財関連施策を適切に推進していく行政内連携が必要 等

- 4-1.ふるさと教育の推進
- 4-2.市民の学習機会の拡充
- 4-3.市民への情報発信の拡充
- 4-4.資料館等の機能充実
- 4-5.相談体制の強化
- 4-6.地域・団体の活動体制・支援制度の整備
- 4-7.企業・専門家等との協力体制の構築
- 4-8.文化財担当部局の資質向上・体制検討 等

防災・防犯

- 文化財の防災・防犯に対する市民への意識啓発への取組が十分ではない
- 災害発生時の対応が明確ではない
- 防災・防犯の備えが十分ではない

- 防災・防犯-1. 文化財の防災・防犯に関する市民への意識啓発
- 防災・防犯-2. 災害発生時の適切な対応に向けた準備
- 防災・防犯-3. 緊急時に備えた予防措置の実施